

はが

“ヘルパー劇団登場”

—野原小での「施設訪問事前学習会」—



便利な
もんができとーなー

耳がとうなってなあ

波賀支部では、福祉学習の一環として昨年から施設訪問事前学習会を行っています。これは、施設で高齢者と交流する前に、特に低学年が年寄りについて学習し、スムーズに交流することを目的としています。

「昨年のホームヘルパーさんの劇がとても楽しく、高齢者のことがよく理解できた」という学校からの要望で、10月11日、野原小学校において今年も4名のホームヘルパーが高齢者についての劇を演じました。

ひとり暮らしの高齢者のホー



準備もでき
いざ デイサービスへ

(波賀支部 坂本幸子)

ムヘルパー、隣の友達やデイサービススタッフとの日常のやり取り。会話の中で、歳をとると身体や気持ちが変わるのか、また、どんな便利な福祉用品があるかなどを、ホームヘルパーが経験をいかし、詳しく分かりやすく演じました。

「大きい声を出さず近くでゆっくりはなしかけてあげたい」「やさしく笑顔で話しかけると、うれしいということが分かった」と児童の感想が寄せられています。

言葉だけの説明ではなく、劇を観ることで、高齢者についてより詳しく理解できたようです。

ちくさ

子育て中のママさんグループ

ハンドベル「メロディーヌ」誕生♪



子どもをあやしながらの練習。「ちょっと待ってねっ。」なかなか前に進みません。

挑戦されています。

結成は、今年7月。グループの名前は「メロディーヌ」。練習を重ねるごとにメンバー

子育て支援センターに集う、お母さん達の中で、「子どもと遊びながら自分たちでも何か出来ないかなあ。」「みんなで楽しんで、仲間作りをしたいなあ。」という思いを持つメンバー12名が集まり、ハンドベルの演奏に



100名が集う、一人、二人暮らし高齢者のつといで初舞台の「メロディーヌ」

同士が和み、子育ての悩みなども気軽に話すことができるようになり、練習日を楽しみにされています。

「今後は、もっと地域の人たちと交流できるような場所で、子どもと一緒に楽しんで演奏できれば」と意欲的です。

最近、子どもが少なく、近所に出て遊ぶ機会も少ないため、お母さん達も地域では孤立しがちです。これからの地域での活動に、社協も協力していきたいと思っています。

(千種支部 山本めぐみ)